

R8年度 沙美小学校グランドデザイン

- ・日本国憲法 ・教育基本法
- ・学校教育法 ・学習指導要領
- ・岡山県教育振興基本計画
- 「**願いに向かってたくましく、心豊かに未来を拓く人材の育成**」
- ・倉敷市教育振興基本計画
- 「**From Kurashiki**」が誇りとなるひとづくり」

- ・児童の実態と願い
- ・保護者・地域の願い
- ・教職員の願い
- ・校区の特徴

学校経営方針(中期経営目標)

魅力ある学校づくり・学びがいのある学校づくり

学校教育目標

自ら学び、心豊かでたくましく「生きる力」に満ちた児童の育成
＜確かな学力・豊かな心・健やかな心と体の育成＞

教育指導の重点

- ・一人ひとりのよさや可能性を大切に、主体的に取り組む子どもを育てる。(確かな学力)
- ・仲間とのふれ合いを大切に、仲よく助け合う子どもを育てる。(豊かな心)
- ・自他の生命尊重を基盤とし、健康で安全な生活をい頓む子どもを育てる。(健やかな心と体)

めざす子どもの姿

- **自分大好き** (自己有用感を高める)
- **友達大好き** (仲間との絆を深める)
- **学校大好き** (楽しい学校生活をつくる)
- **沙美大好き** (ふるさとを愛する心をもつ)

めざす学校の姿

- ・楽しい授業、分かる授業を大切にした学校
- ・互いを認め合い、高め合う学校
- ・教職員が生き生きと働ける学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

めざす教職員の姿

- ・確かな指導力をもつ教師
- ・教育に対する情熱と豊かな人間性をもつ教師
- ・学び続ける教師
- ・協働し、組織的に動く教師

R8年度学校経営目標

みんなの**楽校**

【ミッション】

予測困難な時代を生き抜くためには、主体的に課題に向かい、協働しながら粘り強く解決する力が求められる。そのため学校は、主体的に取り組む自らの成長を自覚することで学ぶ楽しさを味わう場所となることが求められる。
また、誰にとっても安心安全で楽しく集える場所となり、地域のシンボルとしての役割を果たすことが求められる。

教職員にとっての楽校

- ・各活動や行事ごとに育みたい児童の力を全職員で共通理解することを大切に、同一歩調での指導に努める。
- ・児童の成長を全教職員で実感できるよう、児童の振り返りを担任だけでなく担任外と共有したり、担任外が担任に児童の様子をフィードバックしたりすることを心がける。
- ・授業改善への意欲が高まるよう、ちよいチャレを実施したり、互いが得た教育情報を提供できる場を設定したりする。また、近隣校での校内研修へ参加を依頼するなどし、可能な範囲で授業者の研修機会を確保する。
- ・風通しの良い職場になるよう、報告・連絡・相談のしやすい雰囲気づくりを意識し、教職員が互いに新しい提案を積極的にし合える風土をつくる。
- ・ハード・ソフトの両面から業務改善を進め、効率的にすることで負担感を軽減する。

児童にとっての楽校

- ・「分かった」「できた」が実感できるよう、基礎基本の定着に向けた家庭学習や朝学習の充実を図る。
- ・自分のやりたいことを見つけたり、積極的なチャレンジができたりするよう、児童にゆだねる場面を設定する。
- ・自分の考えを積極的に表現したり、失敗を楽しめたりできるようになることを目指し、支持的風土の醸成や人権教育の充実を図り、心理的安全性の確保に努める。
- ・積極的な外部人材等の活用を通して、豊かな体験活動や小さな楽しみを計画することで明日が楽しみになるようにする。
- ・学習場面に限らず、行事等の活動場面でも、めあてを立て振り返ることを大切に、自他の良さや成長に気づいたり、学びや活動の意義を実感できたりするようにする。
- ・学校が居心地の良い場所になるよう挨拶の励行、ルールや決まりの順守に関する指導を徹底する。

保護者・地域にとっての楽校

- ・環境整備や来客対応、電話対応等の接遇に気を配り、気軽に尋ねたり、訪問したりしやすい雰囲気づくりに努める。
- ・ゲストティーチャーや学校支援ボランティアを積極的に招へいし、児童との交流の場を設定する。
- ・保護者向けの学校だよりや地域向けのCS通信、ケーブルテレビなどを利用し、積極的な広報に努める。
- ・学校運営協議会を活用し、学校運営への参画意識の向上を図る方法を探る。
- ・共有ミニ集会を実施し、保護者や地域と児童に求める資質能力や育みたい力についてのベクトル合わせを行う。
- ・隣接中学校、学区内の保幼、公民館との連携を積極的に行う。